



年頭の「うあいせし

## 改革の中から前進を

名寄市長 島多慶志

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、清々しいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一年をふりかえって、春の統一地方選挙、少子高齢化の進行する地方都市での大規模小売店の立地対応。夏の高湿、干ばつ、農産物の価格低迷。ガソリン、灯油の価格高騰など、激動の一年でした。

旧名寄市、旧風連町で永く親しまれ、実践されていた市・町民憲章について、統合するべき有識者による検討委員会での協議いただき、新名寄市の市民憲章を昨年二月二十六日に制定することができました。合わせて都市宣言も、三月十五日に「安全安心都市宣言」「教育都市宣言」「健康都市宣言」「非核平和都市宣言」の四宣言にまとめて市議会の議決をしていただきました。

向こう十年間の名寄市の計画性ある振興計画は「新名寄市総合計画（第1次）」としてスタートさせることができました。

四月に実施された名寄市議会議員の選挙では、合併時の協議により名寄地区、風連地区に分けての選挙となりましたが、次回以降の選挙から一体の選挙に移行します。

地域経済は低迷から脱却出来ず、厳しい状況が続いています。昨年より整備を進めてきた道の駅なよろは四月にオープンします。名称も公募の中から「もち米の里☆なよ





## 平成19年の軌跡

- 2・26 新「名寄市」の市民憲章制定
- 3・15 安全安心都市宣言、教育都市宣言、健康都市宣言、非核平和都市宣言を制定
- 3・16 「星・雪・きらめき 緑の里なよろ」がまちづくりのキャッチフレーズに
- 4・1 新名寄市総合計画（第1次）スタート  
地域包括支援センター開設
- 4・2 風連児童会館がリニューアルオープン
- 4・6 統合により新学校給食センターで出発式
- 4・8 北海道議会議員選挙名寄市選挙区で16年ぶりに選挙戦
- 4・22 合併後初の市議会議員選挙、地区を分け選挙区制で実施
- 4・ 最後の風連町長を務めた柿川弘さんに平成19年度春の叙勲で地方自治功労、旭日小綬章
- 5・19 市内初の室内プール、市営南水泳プールがオープン
- 6・16 第1回なよろアスパラまつりを開催、アスパラ作付け全道一をPR
- 6・21 特別用途地区建築制限条例を制定（7月21日施行）
- 9・10 平成20年～22年の公立高等学校配置計画で、風連高校が平成20年度募集停止となる
- 9・16 ブラジルで行われた世界柔道選手権で名寄市出身の佐藤愛子選手が女子57キログラム級で銅メダルに輝く
- 10・9 名寄信用金庫と土別信用金庫が合併し北星信用金庫となる
- 11・5 新設道路、徳田2号線が開通
- 11・6 愛称が「雪あかり館」に、北国雪国ふるさと交流館で除幕式



今年も市民の皆様が元気で活躍されますことを祈念し、年頭のご挨拶といたします。

「ろ」に決まり、運営は隣接して経営するもち米の里ふうれん特産館に委託します。名寄地方の農畜産物の加工や販売の拠点として発展するよう期待しています。大型小売店の進出で消費者の行動が大きく変化する年となります。まちの中心部の文化や賑わい創出は市民全体の課題として取り組みます。今年八月には、北京で開催されるオリンピックに女子柔道五十七キログラム級で中名寄出身佐藤愛子選手の出場・活躍が期待されます。